

学校だより 特別号



特集 令和6年度後期学校評価

京都市立醍醐小学校 校長 松下智洋

本校では、学校教育目標の実現を目指し、学校評価としてアンケートを行っています。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。さて、3月に実施いたしましたアンケートにつきまして結果をまとめましたので、みなさまにお伝えいたします。本結果をもとにこれまでの教育活動等を振り返り、本校の子どもたちはもちろんのこと、本校に関わりのある方々も含めまして共に、みんなで成長できる醍醐小学校をめざしていきます。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

アンケート【児童】

目標に向かってがんばって取り組んでいる。



自分にはよいところがあり、今の自分が好きだ。



人が困っているときは進んで助けている。



「ありがとう」や「ごめんなさい」が伝えられる。



学校に行くのは楽しい。



困りごとや不安があるときに先生に相談できる。



自分から進んで体を動かしている。



自分の住んでいる「醍醐のまち」が好きだ。



将来の夢や目標(こんな人になりたい・できるようにになりたい)をもっている。



自分から学習に向かっている。



自分の考えを伝えることができる。



自分から進んで家庭学習をしている。



自分から進んで読書をしている。



自分から進んであいさつをしている。



先生は私の良いところを認めてくれている。



アンケート【保護者】

学校は、よりよい教育活動に向けて努力していると思う。



自分は、子どもたちにその子自身のよさを積極的に伝えられている。



自分は、子どもが自分や人を大切にできるよう働きかけている。



自分は、子どもたちに時や場に応じて、「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝えられている。



子どもは、楽しく学校に通うことができている。



自分は、子どもたちの相談に乗れている。



わが子が、自分から進んで体を動かすような言葉がけをしたり、機会をもったりしている。



自分は、地域や社会の活動に参加できている。



わが子が、本をよく読むように声をかけたり、本をすすめたりしている。

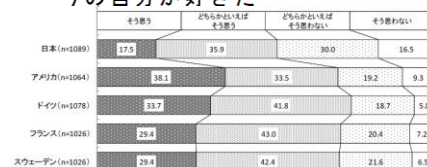


【参考】世界的な傾向は・・・

私は、自分自身に満足している



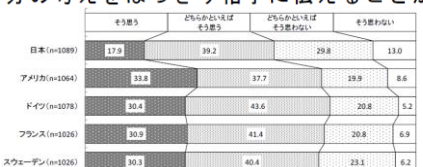
今の自分が好きだ



自分には長所があると感じている



自分の考えをはっきり相手に伝えることができる



こども家庭庁「我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査」(令和5年度)より

アンケート【教職員】

自分は、学校教育目標の実現のために努力していると思う。



自分は、子どもたちにその子自身のよさを積極的に伝えられている。



自分は、子どもが自分や人を大切にできるよう働きかけている。



自分は、子どもたちに時や場に応じて、「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝えられている。



自分は、子どもたちが楽しく学校に通うことができるように働きかけている。



自分は、子どもたちの相談に乗れている。



自分は、子どもたちが進んで体を動かすような言葉がけをしたり、機会をもったりしている。



自分は、家庭や地域との連携を大切にしている。



自分は、子どもたちの読書習慣が定着するように働きかけている。



自分は、自分から子どもたちにあいさつできている。



グラフの見方

質問項目



あまり
そう思わない

世界的な傾向は・・・こども家庭庁が行った調査の結果(一部抜粋)を載せています。対象年齢は13歳から29歳までのため、本校の結果と一概には比較できません。ただ、本校の子どもたちがその年代になる頃にはどのような意識になっていくのかを見通すひとつの材料にはなるかと思えます。(控えめに答える傾向のある日本の国民性も影響しているのかもしれませんが、この調査からは日本の若者が諸外国と比較すると肯定的な回答の割合が低い様子がうかがえます。)そのことも踏まえ、本校において今回の結果に表れている子どもたちの前向きな意識を持続、上昇させていくことを目指して、子どもの成長を後押しできればと考えています。今年度も、保護者の皆様、地域の皆様のあたたかいまなざしと力強いご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



「社会に出たときにどんな力を身につけてほしいですか。」（上位を紹介）

「保護者の方の回答」

- 1 自分の考えやおもいを効果的に相手に伝える力（51％）
- 2 多様な人とおりがあいを付けて、他者とよりよく関わる力（49％）
- 3 「自分ならできる」という自己効力感（45％）

「教職員の回答」

- 1 自分の考えやおもいを効果的に相手に伝える力（73％）
- 2 自分で自分の気持ちをコントロールする力（67％）
- 3 多様な人とおりがあいを付けて、他者とよりよく関わる力（40％）

「地域の方の回答」

- 1 自分の考えやおもいを効果的に相手に伝える力（46％）
- 2 多様な人とおりがあいを付けて、他者とよりよく関わる力（38％）
- 2 自分で自分の気持ちをコントロールする力（38％）
- 2 自分が困ったときに人に助けをもらう力（38％）

「その他」に記入していただいた回答の中から

紙面スペースの都合上、すべてのご意見を掲載することができません。申し訳ありません。

何事にもくよくよしては前に進めない。失敗しても自分の気持ちをコントロールし自己効力感で前に進んで欲しい。【保護者の方から】

自分にとって少しハードルが高い目標を立てて、小さな成功体験を積み重ねることで、自己効力感が少しずつ高まるのではないかと考えます。子どもたちが、自分自身で「こんなふうにしよう!」「がんばってしよう!」と「判断」「決断」する姿が「成長」そのものであり、今年度も学校の中でそのような場面がたくさん設定できたらと考えています。

学校という集団で得られる関わり、経験、競争、たくさんの刺激を受けて、自分で考え前に進める力を身につけてほしいと思っています。【保護者の方から】

「学校は小さな社会である」と言われます。人が集って毎日過ごしていると、いろいろな出来事があります。嬉しいこともあればしんどいこともあると思います。しかし、そのひとつひとつを「他人事」として捉えるのではなく、自分自身とのつながりを考えて「自分事」として捉えることが、よりよく生きるための知恵や工夫となり、自分が前に進む力につながるのだと思います。

まずは子どもたちが『自分自身を好きになり、それぞれ持っている自分の良さを最大限に伸ばし、大切にできる生き方』改めて目的目標からの逆算、その為に今、自分は何をするべきか？ 子どもたちに期待しつつこれからも見守っていきたいと考えています。【保護者の方から】

子どもたちによりそう中で、常にもっておきたい視点ですね。子どもたちとのコミュニケーションを大切にしながら、子ども自身が何を大切にしているのか、何が好きなのか、どのような成長のプロセスをたどっているかを見つめ、子どもの内なるやる気を引き出したいものです。

自分の考えや思いを伝えるのが苦手で情けない思いをしたことがあるので、子どもたちには表現力豊かになってほしいと思います。【保護者の方から】

単に知識を蓄えるといった「インプット」することだけではなく、「アウトプット」、つまり自分の言葉で話すことをはじめとした「アウトプット」の経験を積むことで 自信が増し、さらには思考が整理されたり深まったりして大きな成長につながっていくことと思います。

自己表現力はもっとも大切なスキルであると思います。無限の可能性を秘めた子どもたちには、いつまでも忘れないでチャレンジする気持ちを持ち続けてほしいと思います。【地域の方から】

イチロー選手が野球の殿堂入りのコメントで「自分なりに自分なりの完璧を求めて進んでいくのが人生」と語っていました。いろいろなことにチャレンジすること、こだわって極めていくことって大事だと思います。何事もそつなくできる力も大切ですが、「これが得意!」「これなら任せて!」という一点突破は最強だと思います。